

第4号

患者総合サポートセンターたより

2025 年 3 月発行 新潟医療センター 患者総合サポートセンター

日頃から『患者総合サポートセンター』へのご支援ありがとうございます。今回は、今年度退職される、患者総合サポートセンター長西山医師、チーフマネージャー渋谷看護師長からメッセージをお届けします。お二人は、患者総合サポートセンターの中心として、組織を牽引し、患者総合サポートセンター立ち上げにもご尽力いただきました。心より感謝申し上げます。



この度は、患者総合サポートセンターを離れることとなりました。令和3年度に地域連携支援部へ移動となり退院支援看護師として医療ソーシャルワーカーと一緒に業務ができ大変有意義な経験をさせてもらいました。以前は入院中の看護を考えていましたが、退院後の生活の場を見据えた退院支援を行うことで患者様が何を望んでいるのか、患者・家族の希望は何かを考えて支援するようになりました。最初は、退院支援カンファレンスを行うため病棟に伺っても医療ソーシャルワーカーと退院支援看護師だけで誰も集まってくれない、患者の方向性もわからない、そのため入院期間が長い患者が多いところから始まりました。今は、情報を共有しながらカンファレンスを行うことが習慣化しています。外来・病棟・地域の皆様へとつなぐ継続看護を大切に支援してくれる仲間も増え、退院支援看護師として4年目の令和6年4月に患者総合サポートセンターの設立に立ち会うこともでき入院支援看護師のかかわりが大きくなってきています。さらに医師事務作業補助者とチーム医療をつなぐスタッフも増えています。これからも、患者様が安心・安全な入院生活ができ自宅等でその人らしく過ごせる支援ができる体制作りの一環に携わっていきたいと思います。

令和七年三月
患者総合サポートセンター
チーフマネージャー 渋谷明美

JA 新潟厚生連新潟医療センターの職員の皆様、そして地域の皆様へ

このたび、私は今春をもちまして新潟医療センターを退職することとなりました。令和3年4月より地域連携支援部長としての職を拝命し、これまで多くの方々とともに地域医療の発展に努めてまいりました。振り返れば、本当に多くの方に支えていただきながら歩んできた時間だったと感じています。

まず、職員の皆様には心から感謝申し上げます。皆様のご協力なくして、ここまでの業務を全うすることはできませんでした。日々の業務に真摯に向き合い、それぞれの専門分野で力を尽くされている姿を間近で見て、私自身も多くの学びを得ました。地域のために尽力される皆様の熱意と努力には、ただただ敬意を表するばかりです。

また、この数年間を通じて、医療を取り巻く環境の変化を肌で感じ、一つの病院だけで医療や看護を完結させることの難しさを強く実感しました。人的資源や時間、資金の制約の中で、より良い医療を提供し続けるためには、病院だけでなく、地域の医療機関や介護施設、行政との連携が欠かせません。お互いが支え合いながら、地域全体で包括的なケアを提供することが、これからの医療のあるべき姿ではないでしょうか。

日本は世界に誇る国民皆保険制度のもと、誰もが必要な医療を受けられる社会を実現しています。この恩恵は患者様お一人おひとりだけでなく、社会全体が医療の受益者であるとも言えます。医療の本質的な役割は、病める方を治癒へ導くだけでなく、地域社会全体の安心と健康を支えることにあると私は考えています。当院も、地域包括ケアシステムの要として、他の医療・介護機関や行政との緊密な連携を図りながら、地域の誰もが必要な時に必要な医療とケアを受けられる体制づくりに尽力してまいりました。

医療には「治療」と「ケア」という二つの側面があります。病気を治すことはもちろん大切ですが、それと同じくらい、患者さんやご家族に寄り添い、安心して生活できるよう支えることも重要です。例えば、足元がおぼつかない方にそっと手を差し伸べる、声をかけるといった日常の小さな気遣いこそが、医療従事者としての本質的な役割の一つではないかと思います。病院は、単なる治療の場ではなく、地域にとって安心の拠点であり続けるべきだと信じています。

昨春から運用を開始した患者サポートセンターも、少しずつ形になり、地域の皆様にとって欠かせない存在になりつつあります。しかし、まだ道半ばです。これからも、より多くの方々に「ここに相談すれば安心できる」と思ってもらえるよう、職員の皆様には引き続き力を尽くしていただければと思います。

私自身はこの病院を離れることになりますが、これからも皆様のご活躍と、新潟医療センターが地域に愛され、発展し続けることを心より願っております。そして、今後どうか、地域医療の未来を支えていってください。

最後になりましたが、これまで支えてくださったすべての皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和七年三月
JA 新潟厚生連新潟医療センター
患者総合サポートセンター長 西山 健一

（患者総合サポートセンター寺野・有吉）